

象万羅森

全国労働衛
生週間(10月
1-7日)に
あわせ各地で
安全大会が行
われた。この
運動は195
0年(昭和25
年)に始まり、
今年で59回目となる。

「国民安全の日」(7月
1日)から行われる全
国安全週間は1928
年(昭和3年)に始ま
り81回目を数える▼産
廃処理業における労働
災害の発生状況(06年
度、厚生労働省調べ)
は死亡者数19人、休業
4日以上の死傷者数1
167人だ。事業規模
別では10人未満27・6
%、30人未満34・6%、
50人未満17・8%。事
故要因はトラックから
の墜落・転落(111
人)、はさまれ・巻き込
まれ(47人)、コンベア
でははさまれ・巻き込
まれ(45人)などが多
く、都道府県別では大
都市圏が上位を占める
▼3月に改訂された第
11次労働災害防止計画
(08-14年)によれば、
全国の労働災害による
死亡者数(07年、速報
値)は1310人。長
期的には減少傾向だが
腰痛は増加傾向で業務
によるストレスも増え
ている▼計画は死者数
が対07年比20%減、定
期検診所見率は同15%
減を目標に掲げる。あ
る社長は「働きやすい
職場環境づくりが経営
者の使命」と語る。現
場では複数の眼が事故
の抑制につながるとい
うが、「従業員は皆」
という経営者の「眼」
も重要だ。(小)

平成20年10月13日
週刊循環経済新聞